

はじめに

福井都市圏（福井県嶺北地域）では、昭和52年（1977年）本県ではじめて“人の動き”を質、量の両面から捉える第1回パーソントリップ調査を実施しました。

平成元年（1989年）には、県の新長期構想に沿って、高速交通ネットワークの整備などの交通計画策定に活用するため、第2回の調査を実施しました。

しかし、その後予想を上回る少子・高齢化社会の進展、高度情報化の浸透とそれに伴う経済活動の変化、中心市街地の衰退と市街地の拡大、地球環境問題の深刻化など、経済、社会情勢が大きく変化してきており、新しい総合都市交通計画が必要となってきました。

このような背景のもと、平成17年（2005年）に第3回福井都市圏パーソントリップ調査を実施し、都市交通の実態を改めて把握した結果、第2回を上回る自動車利用の大幅な進展と公共交通利用の減少、広域的な移動の増加などの実態が明らかになりました。

また、福井県は、平成16年5月に策定された福井県都市計画区域マスタープランにおいて「個性と魅力あふれる都市づくり」、「持続可能な都市づくり（コンパクトな市街地形成）」を基本理念としたコンパクトな都市を目指しています。

そして、福井都市圏には、これまでに築かれてきた鉄道やバスなどの公共交通が存在し、市民の足として活躍してきました。このような公共交通を都市には欠かすことのできない貴重な「都市の装置」として位置付け、有効に活用していくことが求められています。

このような福井都市圏を取巻く状況を踏まえ、平成18年度「福井都市圏総合都市交通計画委員会」において、平成17年度パーソントリップ調査の結果を用いて、福井都市圏の都市交通体系の望ましいあり方について検討を行いました。

このパンフレットは、パーソントリップ調査に基づく都市交通の実態と福井都市圏総合都市交通計画委員会が行った都市交通体系の提案を取りまとめたものです。

このパンフレットが福井都市圏の交通を考えるきっかけになるとともに、今後の各市町における交通計画の策定をはじめ、各方面で幅広く活用されることを願います。

平成19年3月

福井都市圏総合都市交通計画委員会

